友愛

発行所
友愛青年同志会
東京都文京区音羽町7の10
電話 大塚(941)2801
編集兼発行人 高野政利
定価 1部 10円

第十二回全国大会特集号

【写真は開会式の席上二年ぶりに挨拶する元気な鳩山会長】

代表275名ここに集う

第十二回全国大会は、五月一・二・三・四の四日間にわたって読売ランド地方学生ホテルにおいて開催された。

参加者は、大会参加を前にして支部結成をした高萩支部、千葉支部、船橋支部からの出席もあり、役員地方代表をあわせて二七五名に達した。

四日間に、資格審査委員会、運営委員会、開会式、本会議、分科委員会、ブロック別懇談会、総合討議、文化祭、閉会式、記念パーティの多彩な行事を展開し、八議案を一部修正可決して大会を終了した。

今大会では、内部充実に最重点をおくことを決定し、会の若返りをはかるため尾形智矩新幹事長が出現、奥田吉郎君は押されて会員初の副会長に就任し、今後の活躍が期待される。

奥田新副会長が誕生

内部充実の決意新たに

◇開会式

五月二日、午前十一時より本館ホールにおいて、清水幸雄任幹事の司会により開会された。

君ヶ代の斉唱、会綱領を佐藤忠夫君（窯業支部長）が元気良く朗読し、奥田吉郎準備委員長より昨年の反省と今年度の方針について力強い趣旨説明があって、二年ぶりに年に似ず若々しい鳩山会長の挨拶（別掲）の後、会の発展に熱心な宮川三郎副会長の挨拶がおこなわれた。

続いて来賓から西宮久吉氏（衆議院議員）鹿島守之助氏（参議院議員・本会顧問）古沢鐵一氏（前輸出入銀行総裁）大山良雄氏（計理会副会長・本会相談役）紀平行雄氏（核禁専任理事）の挨拶を賜わり、また海外からはるばる届いた各会員カレルギー伯、MAYOオーストリア青年連助会議、カンボジア王国社会主義青年団のメッセージを卓川広中国際部長が代読多数の祝電を佐々木恵美子常任幹事が披露した。

続いて大西敬治統制委員長より優秀支部連合会および支部の表彰があり、船山会長より賞状および記念品を贈呈した。更に、この四月から友愛奨学金によって来日したマレイシヤのコニーさんとシャリファさんの二人の女性の紹介が鳩巻克雄常任幹事よりあり、代表してコニー嬢が挨拶をおこなった。

最後に地方支部を代表して熊野真一君（金礼支部長）から全国大会を終りあげようとの挨拶をおこない、友愛の歌を合唱し幕を閉じた。

◇本会議

本会議は、五月三日午後一時より同じく本館ホールにおいて開催され、仮議長に山川昇君（三重県連会長）を選出、資格審査委員長水田和雄君（船路支部長）の審査報告を承認、大会は二七五名の出席をもって成立をみた。

次に、大会運営委員長三浦吉治君（金別支部長）より大会日程全般について報告し、それを了承、続いて議長団の選出に移り、議長に坪田茂男君（北海道連副会長）副議長に鳥井敬光君（関西地区組織委員）田中祥子さん（都連常任幹事）を選んだ。

続いて議長団の選出に移り、議長に坪田茂男君（北海道連副会長）副議長に鳥井敬光君（関西地区組織委員）田中祥子さん（都連常任幹事）を選んだ。

続いて議長団の選出に移り、議長に坪田茂男君（北海道連副会長）副議長に鳥井敬光君（関西地区組織委員）田中祥子さん（都連常任幹事）を選んだ。

一般会務報告、会計報告に入り宮田靖事務局長より説明をおこない質疑応答の後、これを承認した。早速分科会に入ることを宣し、別項の如く議題を附託して本会議後の休憩に入った。

五月四日午前九時より再び本会議を開催し、三分科委員会委員長の報告を了承、体育部の設置、機関紙を五月中に出すことを約束して全議案を一部修正可決した。

続いて役員選衡委員長篠崎健夫君（鎌倉代支部長）より、三日正午より本部室で開催された役員選考の結果について報告、満場一致承認した。

奥田吉郎幹事長が副会長に、尾形智矩常任幹事が幹事長に就任、本会の創世紀より参画した北川登常任幹事、高杉信義常任幹事が常任幹事に就任、新常任幹事として三浦吉治君、山川昇君、山崎栄君、田中祥子さんが就任し指導いがおこなわれた。

◇閉会式

引き続いて閉会式に移り、新役員を代表して尾形智矩新幹事長より挨拶、大会会長を佐伯記一君（前橋支部長）が朗読した。

最後に川手正一郎常任幹事の音頭で万歳を三唱して、大会の幕を閉じた。

この他御出席頂いた来賓各位に深く感謝するとともに、今後の御協力をお願いする次第である。

◇来賓（敬称略・順不同）

世界連邦日本青年団協議会事務局長 高畑三・文京タイムス社長 有馬三・大和金属工業株式会社社長 平尾三郎・日本青年団体国際委員会事務局長 斎藤浩一・友愛婦人会副会長 井上等子・本会相談役 柳沢瀧世界連邦日本青年団協議会常任参与 白河忠一・本会賛助会員 和田順子・国民協会学生部 文京区会議員秋本平十郎

平和を築く信念を

会長 鳩山 薫

皆さん今日は、よくお出でくださいました。

私が毎年の大会にお話ししているのですが、誠に、青年同志会の会員さまにふさわしくない会長でございます。昨年の大会は、盤石の選挙をして成立をみたのでお席いただくところでございましたので欠席いたしました。今年はまた、この委員会に出席して開かれましたが、ようやく出席することができました。

本当に、こうして全国からお集まりいただきました皆様のお顔ぶれを見ますと、皆年が若くなって、その上、幅広が広くなっていることをひしひしと感じます。それだけ会が大きくなり、広くなって参ったものと存じます。

私が何時も申しあげていることでございますが、非常に対外的、または国際的の活躍が年毎に顕著らしくなりまして、確かに充実しております。それで、国内の地固めをもう少ししていただきたいと幹部の方々にお願い申しましたのでございます。大会要覧を見ますと国内の固めを進めるようでございますので、大変うれしく思っております。外部の方に手がのびますと、内部が留守になります。どうか皆様も沢山の友達をお誘い下さって、友愛精神を広めて頂くようお願いいたします。

若い方々の力で沢山のお友達を作り、世界のどこかで悩んでいる人達を、お互いに人間同志げんかをすることは情けないことだと自覚して頂き、それを国という立場からいろいろいうことがあるのでしょうが、そうではなく、人間の心が変っていけば、そんなことはなくなるわけでございますので、皆様には友愛の精神で、これからの将来を背負って頂きたいとお願いいたします。

皆様は、本当に平和を築きあげていくことを信念として、一致友達を作って頂き、この日本の国中友愛精神で固めてしまうことによって、私達の国は平和な国なのだと安心していられることと思うのでございます。

様々な職業の方、様々な立場の方などございますが、唯、心が通っておりますれば、お互いに友達になれるし、今迄の経験から私達は感じているのでございます。

どうか皆様のご活躍をお願いいたしまして、国内の地固めを充分に果たされました上で、今迄通りの外部への発展をお願い申しあげご挨拶といたします。

大会宣言

国際情勢の緊迫化はヴェトナムを焦点として、マレイシヤ紛争インドネシアの国連脱退、中共の核実験等、アジアに移されてきた。われわれは三次にわたる東南アジア親善使節団の派遣、マレイシヤ等留学生の受け入れ、海外青年協力隊設置への努力等に全力をたむけてきたが、さらに話しあいによる平和が達成されるよう世界の青年に呼びかけなければならない。昨年の歴史的な世界青年キャンプのあとを受けて、メキシコキャンプの実施、二二〇名に達する前期青少年代表の成功、世界連邦サンフランシスコ大会への参加、第八回世界連邦世界会議の東京開催の準備をはじめ、国際的に果たす役割が益々多くその責任も重くなってきた。

国内においては、わが国の青少年団体においても指導的な立場にたち、青少年対策についても、建設を試みその実現を果たしてきた。

本年はとしをすると対外的な問題に比重が走り勝ちな現状を反省

一九六五年五月四日

第十二回友愛青年同志会全国大会

決議を実践し、友愛社会の実現のために国際的にも、国内的にも一層の精進をかたむけることを誓う。

内外情勢多端なおり、ここに第十二回全国大会に結集された全国会員の名において、友愛運動の将来に、自信と誇りをもち大会で可決された諸一般の精進をかたむけることを誓う。

直言

◆全国の会員諸君おめでとう。友愛にとっては十二年の歳月ではあるが、人間の一生のうちではようやく小学校を卒業して、中学生となる時である。胸に金ボタンを光らせ新品の帽子をかぶった格構は、自然に胸を張り、何処かを歩き回り、人に見られたくなる時である。しかし、直接はめられた言葉をかけられた時は、真赤になってはこんがいるのが普通であろう。

◆前回大会より徐々に人事の更新がおこなわれてきた。今大会では特に奥田吉郎新副会長ならびに尾形智矩新幹事長の誕生があって、本格的な新旧交替のチコ入れの時のように思われる。皆さまこの五月晴れの空のように、爽やかに吹き入れてくれる新常任幹事三浦吉治君、田中祥子君、山崎栄君、山川昇君の四名が加わり、一段と会活動の充実をはかることができるものと期待している。

◆引退をした前常任幹事の中でも益々友愛運動の指導者として、その意気盛んでいる人も多いが、働らく場所の次元を一階上の二階にも上げて、友愛憲法の一頁を増して頂きたいものである。新しく若い会員にとっては、それが唯一の贈りものとして、将来は勿論明日の糧とすることであろう。

◆マレイシヤより留学生として福岡に滞在していた、コニーとシャリファー両嬢は、今大会参加のために上京して、開会式において挨拶をした。国際的に本会がどれだけ大きな飛躍と発展を遂げているかは、この一事をもって理解することができるであろうし、会員もこれを誇りとし、友愛運動推進のための一目標として、将来は世界各国からの参加者を呼びたいものである。

◆五月のゴールデンウィークに我々は、全国大会によって今年度の方向を決定づけた。しかし、連休を楽しむために、盛山した多くの若者たちが死者に前に眠っているのである。全国の支部においても代表者を大会に送りながら、それぞれの行事があったことと思うが、充分な準備と、懸命な企画によって、金ボタンの中学生らしく、充実した楽しい毎日と、各職場と各地域での友愛運動を進展していただきたいものである。

海外メッセージ

カレルギー名誉会長

私は友愛青年同志会の崇高な業績に対し、深い共鳴と尊敬の念をもって信奉しております。人類の友愛の名のもとに、アジアとヨーロッパを平和的に結びつけることは、日本の、そして中でも友愛青年同志会の世界的な使命であります。

我々の未来を脅かす第三次世界戦は、アドルフ・ヒットラーの民族的思想によって鼓舞されることでありましょう。人類の友愛による新しい平和への勢力のみがこの悲劇を防ぐことができるのであります。立派な理想の復活は、アジアにおいてはゴータマ・ブッダ、ヨーロッパにおいてはイエスキリストによって推進されてまいりました。その立派な考え方というのは、犠牲、信仰、国家並びに思想を超越して、我々全人類が兄弟であり、また姉妹であるという考え方であります。

日本は愛へのこの現代革命を推進してゆかなければならないし友愛青年同志会は、さらにこの革命を日本国内のみに止まらせることなく世界の全人類にまで発展させる使命をもたなければなりません。私は、友愛青年同志会の友愛運動の中に、この偉大な開拓精神をみることができ大変感しく思っております。

友愛青年同志会の創立者、故鳩山一郎氏の遺の安からんことを祈りつつ。

一九六五年五月二日

友愛青年同志会名誉会長
クーデンホーフ・カレルギー

マレイシア青年クラブ

友愛青年同志会とマレイシア青年クラブの関係は、次第次第に強力になってまいりました。この事は、昨年おこなった種々の青少年交歓計画を通じて可能になる事が出来たのであります。

今年マレイシア青年クラブは、友愛青年同志会のご協力によりまして、美しい国、日本へ本会員の二名の女性を、友愛スカラシップにより留学させる事が出来ました。と同時に、マレイシア青年クラブは、第三次友愛東南アジア使節団に対して、ホスト役を果たす事が出来ました。これらの計画は互いの生活様式の理解と正しい判断を養い、両国の平和と繁栄を保証するための方策を培かうことになるのであります。

マレイシア青年クラブは、友愛青年同志会との現在の関係を樹立する事が出来た事を本当に誇りに思っております。

貴会の第十二回大会は、実際未来への挑戦、備える準備段階であると思います。それ故四万人の会員を有するマレイシア青年クラブは、貴会が第十二回全国大会をもった事に対して心から祝福致します。そしてこの全国大会から種々な未来像が出てくる事でありましょう。また、仕事の面においては、友愛青年同志会を更に立派に成功に導き、そのリーダーの珍奇とお国自慢の結出をたくみと進行し、二時間の予定が三十分も延長されたが、大喝采の拍手と歓声だけあって、内容も年々良くなったことを期待しております。それだけ友愛の腐が、厚くなってゆくことになります。

最後に、①わかりやすい友愛精神の解説と最近の実践②組織の総点検と具体的な指導③研修会の効果的な開催と指導者の養成④支部財政の確立のための適切な指導⑤機関紙の定期刊行と本部活動の指針の送付⑥組織の拡大等について、本部、地方一体となって努力し、来年の大会にはその成果の喜びをわかちあいたいと存じます。

智恵しぼる文化祭

会長賞に輝く本部一座

友愛文化祭は三日午後七時より本会議場を舞台として、司会席、審査員席、観覧席、舞台裏屋等本ものの劇場でこけの準備のもとに、盛大に開催された。

司会者は中川清治文化部長と云年も活躍した秋田幹事の両君によって、全国から参集した代表者の順番をきめるのにも一苦労であった。十周年を契機に始められた文化祭は今回で第三回目になるが、さすがに各支部代表する有用な芸、十四にあまる出し物のうち、たちまち開幕の時刻となった。

プログラムは大会速報によって全代表者に配布されたが、念入りな文化部長の手によってメクリも用意され、十四にあまる出し物の順番をきめるのにも一苦労であった。十周年を契機に始められた文化祭は今回で第三回目になるが、さすがに各支部代表する有志だけあって、内容も年々良くなってゆくことになります。

第一位（会長賞）本部常任幹事一座「お国がえり・大名行列の場」で、殿様、ケタ川似非守（北川登）家老、高山へタ守（奥田吉郎）勘定奉行、川手申蔵奈（川手正一郎）奥方、竜巻局（佐々木恵美子）総龍かき、飲兵衛助重（尾形智矩）同、怒りの権太（鶴巻克雄）その他ひや奴、とも奴など総勢九名による大見せ場であった。

その上それぞれ侍口上で、友愛の今昔を語り継ぐなど、心ゆくい出来栄えと、今文化祭での旁逸さを誇っていた。第二位（幹事長賞）劇団船橋支部「友愛で世界を結ぶ・外国メッセージ朗読の場」第三位（財団賞）関東学生部社中「日本舞踊・平川千万里さん」第四位（父化部長賞）東京都支部連合会シリーズ「WH選手権試合・プロレスリング」第五位（都連賞）旭川支部マチェアンクラブ手品・琢田茂男君」などが入賞一面を飾ることした。最後にマレイシア女子留学生のコニー・シンヤリフ両嬢の特別出演があり、彼女達のリードで我々共貫会の成功と発展を祈念致しております。

一九六五年五月二日

マレイシア青年クラブ事務局長
ナシル・ビン・イブラヒム

イシヤ青年クラブは、第十二回全国大会に心からの祝福を贈る。共に、貴会々員の健闘を祈り、お互の友情と絆が、益々強力になってゆく事を期待しているのです。

将来に備え地固めを

幹事長　尾形智矩

このたびの全国大会において幹事長に選出され光栄に思うと同時に責任を痛感しております。

国際情勢はソ連のフルシチョフ首相の解任、中共の核実験、イギリス労働党内閣の出現、インドネシアの国連脱退、ベトナム戦争の悪化、最近ではドミニカの内紛などに昨年十月以降新年は国際的にも国内的にも動きの激しい年となることが予想されます。

私は激動する国際、国内の諸情勢のなかにあってあらゆる問題は大きく、国内の一部には中共核実験がわが国に与えた影響の核武装論が急がれており、本題の焦点を十分に把握し、世界武装をすべきであるとの意見が表われはじめました。本年は参議院選挙の年であります。一方日韓問題、日中国交回復問題、物価値上りの問題、医療問題などと結論が急がれており、本会活動でお第一線にたっており史的な視野に立ち、冷静な、しかも良識ある態度で歴史の方向と考えます。そのためにはまず友愛思想の普及徹底と組織の総点検をはじめとする組織の拡充をはかる必要があります。

私は大会で決定された本年度の活動方針を全国同志諸君とともに忠実に実施してゆく決意であります。全国同志諸君の積極的な御協力をお願いします。

最後に多年本会の発展のために貢献され、今大会で会長職より去られた先輩の方々に心から敬意を表します。

金国大会において「本年の運動の基本は友愛思想の普及と組織の拡充を中心とする内部問題の解決促進である」との運動方針が決定されました。私は友愛青年同志会が将来大きく発展するために、当面まず足元をかためねばならないと考えます。

友愛会館建設を図る

副会長　奥田吉郎

この度は副会長の大任を受けられ感激しております。

創立以来、苦労を重ねてきた幾多同志の業績の上にたっての就任と感じ、深い感謝を申し上げます。

本年は「内部充実の年」であります。それについての若干の意見を述べ新執行部協力の一助とし、挨拶に変えます。

一、友愛会館の建設をはかろう

友愛会館のセンターとして五ヵ年計画ならびに「友愛会館」の建設をはかりたいと存じます。従来、この種計画は外部からの寄金、寄付などを真先に頂き過ぎた感があります。この度は会員から盛りあがった運動として「友愛基金」を中心にしてまずはじめてみるべきと思います。友愛会館の設計について数多の計画を楽しみながら、基金とクラブ員相互の向上を目指す積みかさねに努力しましょう。

二、友愛クラブの発足について

本会は発足してすでに十二年かっての創立時代の同志の、社会活動でお第一線にたっており熱を友愛クラブにふりむけていただくことを期待しております。

なお、クラブ員の増加が目っており新旧交代の大きな時期に到達しました。

幸い今大会において「日本友愛クラブ」が設立されることになり、友愛青年同志会の援助協力の総点検と具体的な指導③研修会の効果的な開催と指導者の養成④支部財政の確立のための適切な指導⑤機関紙の定期刊行と本部活動の指針の送付⑥組織の拡大等について、本部、地方一体となって努力し、来年の大会にはその成果の喜びをわかちあいたいと存じます。

新役員一覧

名誉会長　クーデンホーフ・カレルギー

顧問　石橋正二郎、木村毅、藤原吉太郎、我妻栄、船田文子、細川隆元、鹿島守之助（常任）

川崎秀二（常任）

相談役　秋本平十郎、石橋義夫、大口良雄、尾崎新次郎、押川如水、加藤精一、近藤学雄、酒井勝郎、沢田政暁、田中重弥、柳沢潔、西木まさ子

常任参与　飯島清、五十嵐富喜、北川登、高杉良美、深津栄一、吉川昭市、小島孝男、渕上雄美子、渡辺昇

副会長　鳩山薫、宮川三郎、奥田吉郎

幹事長　尾形智矩

事務局長　宮田靖

常任幹事　飯塚新太郎、大西勝治、尾形智矩、川手正一郎、清水幸雄、添野元晴、高野政利、高橋最貴、田中祥子、田辺克寛、鶴養晃雄、中川清男、早川忠光、早川広中、三浦吉治、柳沢定勝、宮田靖、佐々木恵美子、山川昇、山崎栄

監査　星健夫、鈴木通夫

【写真(5)は文化祭で熱演するマレイシア留学生(6)は最優秀支部連合会賞を受ける宮崎関学委員長】

大会資格運営両委員会開く

大会資格審査委員会と大会運営委員会は五月一日午後七時より、地方生活ホテル一〇号室及び一二号室において、それぞれ開会され、両委員会ともはじめに宮田靖事務局長から議題の説明をきいた後次の通りの審議決定をした。

〈資格審査委員会〉

①委員長に水田和雄君（姫路支部長）を選出。

②参加代表者の資格審査書の習果全員を代表者として認定。

③四月末に結成された高槻、千葉常任幹事会で支部の結成が承認されればこれを認める。

④上の結果、今大会に出席をしている代表者一四二名、委任状提出数一三二名、合計二七五名が代表者として認定された。

〈運営委員会〉

①委員長に三浦吉治（全運副会長）、副委員長に水田和雄君（姫路支部長）、登別支部長）

②大会日程については本紙四月号掲載の通り。

③大会人事については次の通り決定された。

○司　会　清水　幸重（常任幹事）

○仮議長　山川　昇（三重県委員長）

○議　長　押田　茂男（運営副委員長）

○副議長　鳩井　敏光（幹事）

〃　田中　祥子（都連東京連部々長）

○書記長　吉田　照子（統制委員）

○書記　木下光二　戸井田英雄　早川淳子　丸山佐知子　松島利光　中　正子

○議事録署名人　玉川　伸也（関西学生部委員長）　布施　明治（松江支部）

○会場領収証　伊藤　忠夫（室蘭支部）　熊野　卓一（全礼支部長）

○大会宣言朗読　佐伯昭一（前橋支部長）

○レセプション司会　高野　政利（常任幹事）　中川　治男（常任幹事）　秋田　昌晴（幹事）

○友愛文化祭審査委員長　柳沢　定勝（常任幹事）

○友愛文化祭司会　中川　治男（常任幹事）　秋田　昌晴（幹事）

〃　三浦　吉治（登別支部長）

〃　星　健夫（前代表支部長）

〃　角田　恭子（横浜副支部長）

〃　井上都司子（室蘭支部長）

〃　川崎　貞一（三重県連会長）

〃　鶴川　昇（全礼支部長）

関東学生部最優秀賞に輝く

関会の席上、第二回全国大会より始められた優秀組織の表彰を今大会においてもおこない、統制委員会は次のように、最優秀支部連合会、優秀支部連合会、優秀支部連合会に関東学生部では連続三回目の授賞に輝き満場の拍手をあびた。

最優秀支部連合会賞

関東学生部（委員長＝宮崎久男君）

優秀支部連合会賞

東京都支部連合会（会長＝柳沢定勝君）

三重県支部連合会（会長＝山川昇君）

岐阜県支部連合会（会長＝梶本英夫君）

優秀支部賞

長田中伊三次、農林大臣赤城宗徳、浅田宏之、石橋義紘、坂上誠一、運輸大臣松浦周太郎、労働大臣石田博英、総理府総務長官臼井莊一、辻谷勝弘、秋田殿子、富田善也、長田正太郎、越川暁、梶本英夫、大久保照夫、磯部安神、張西五六、竹重陸夫、秋田昌晴、早川淳子、宮崎久男、佐々木恵美子、山川昇、鶴川貞一、三浦吉治、三重県連会長、山崎栄、

祝電

衆議院議長船田中、衆議院副議長田中伊三次、労働大臣石田博英、総理府総務長官臼井莊一、辻谷勝弘、秋田殿子、富田善也、長田正太郎、越川暁、梶本英夫、大久保照夫、磯部安神、張西五六、竹重陸夫、秋田昌晴、早川淳子、宮崎久男、佐々木恵美子、山川昇、鶴川貞一、三浦吉治、三重県連会長、山崎栄、

衆議院議長船田中、衆議院副議長田中伊三次、農林大臣赤城宗徳、運輸大臣松浦周太郎、労働大臣石田博英、総理府総務長官臼井莊一、辻谷勝弘、秋田殿子、富田善也、長田正太郎、越川暁、梶本英夫、大久保照夫、磯部安神、張西五六、竹重陸夫、秋田昌晴、早川淳子、宮崎久男、佐々木恵美子、山川昇、鶴川貞一、三浦吉治、三重県連会長、山崎栄、

山栄吉、菊地義郎、栗山礼行、進藤一馬、砂原格、高瀬伝、田村良平、中曽根康弘、永山忠則、床波徳次、藤井勝志、坊秀男、星島二郎、前田正男、三原朝雄、山本勝市、内、渡辺栄一、恒四郎、日本大学会頭吉田重一良、文京区議会議長会議員中内俊光、群馬県議会議員近藤英一郎、日本青年館、日村良平、日本青年館、日本青年団協議会、日本学生会館、日本学生会館議会、小松原、日本婦人有権者同盟、第一法規出版株式会社田中重弥、高知市明神登美子、大村幼子、友愛山荘高橋延宣（敬称略・順不同）

友愛　昭和40年5月10日　第147号　（毎月1回10日発行）

第一分科委員会は二日午後二時三十分より五時まで、三日午前八時より十二時まで本館ホールにおいて開催された。

附託議題は第一号議題「昭和四十年度運動方針について」、第七号議題「体力向上運動の推進について」、第八号議題「大会宣言について」の三議題であった。

担当役員は奥田喜郎、川手正一郎、鶴巻克雄、福沢定勝、尾形智短、高杉信美の七常任幹事であった。

分科会委員長には平塚県船橋支部長田久保尚俊君が選ばれ出席者は六十一名を数えた。

まず第七号議題「体力向上運動の推進について」、奥田幹事長が「国民の健康、体力の増強は、健康を楽しむことによって明るい生活をもたらし、職場において生産性を高める点では友愛社会実現の基礎となり、わが国躍進の原動力にもなるものである。なかでも青少年の健康、体力の増進は人間の基礎的な体力を作る時期にあたっているので一層必要であるし、健全な精神は健全な身体に宿るとの意味からも最も期待される運動である」との提案理由の説明をおこない審議に入った。

そのなかの具体的提案、青少年の指導者を養成する講習会の開催をはじめこれらを管理する専門部局を本部に設置することを決議し、交通事故、手術等による血液需要人会費の値上げは理解できるが、地区、支部、支部連合会費の値上げは妥当性をえるのではないかと意見が多数出され、これに対し本部から、本会のような組織体にあっては財政の三分の一が会費収入であるのは当然であるとの説明があった。

続いて第二号議題「事業計画の提案理由は宮田事務局長から述べられ、今年度の事業計画は組織的に分けて実施すること、"友愛サマー・キャンプ大会"を開催して野外活動の一大行事とすることなどが説明された。

第二日目の分科委員会は事業計画の提案理由の説明まで休憩し、その審議は第二日目五月三日午前八時から十二時までの委員会に持ち越された。

前日に引き続いて再開された委員会では、事業計画の審議に入り個々の事業内容とその実施方法についての質疑がなされ、才来助け合い運動の友愛才来助け合い旬間を友愛才助け合い旬間として十二月中をその期間とするように原案に一部修正をして方場一致可決された。審議時間一時間二十五分次に、第三号議題「予算」については六ヵ月以上滞納すると記しあいの上除名する。

⑥、友愛山荘を通じての組織活動について

友愛山荘をもって組織活動の場として活用したらどうか、月々の位の入会者を出しているか。

7、(イ)職域活動の推進について地域支部の現状から職域支部を認める状態についての説明を望む。

(ロ)中小企業の青少年は今日では、かなり労働条件がよくなっているのではないか。

(ロ)学生対策について

友愛学生会議の期日の決定が学生部より報告され承任された。

(八)婦人対策について

八月五日より八日まで本年度の具体的な婦人対策について明示せよ。

4、情報宣伝活動について

まず何より機関紙をだすことが先決である。続いて友愛情報の復刊をすべきである。

代表の参加をさせるべきである。

3、府県連支部の大会について

可能な限りの出席ではなく、必ず出席せよ。

県庁所在地の支部づくりのために支部の実状を掌握すべきである。

会費完納運動をやらなければならないのは残念である。登別支部でやったらどうか。

地方支部の機関紙コンクールを本部より派遣し、来年の大会には沖縄に組織をつくるべきであり

2、沖縄について

施されているが、これが完結しないのは本部の責任ではないか。

1、組織経過について

新聞は発行されているかどうか

なお役員に対する立候補および推せんは五月三日午前十一時まで原稿がなければ出席から遅るが編集局の意図ではないか。

友愛リーフレットはすでに二年前に実

おくれをとり原案確約ができるかもとに一日も早く安定した、しかし

専心する根拠を示せ、他の部例えば名最支部(三重)なども結成予定なので支援をするようにせよ

4、情報宣伝活動について

まず何より機関紙をだすことが先決である。続いて友愛情報の復刊をすべきである。

代表の参加をさせるべきである。

3、府県連支部の大会について

可能な限りの出席ではなく、必ず出席せよ。

県庁所在地の支部づくりのために支部の実状を掌握すべきである

会費完納運動をやらなければならないのは残念である。登別支部でやったらどうか。

地方支部の機関紙コンクールを本部より派遣し、来年の大会には沖縄に組織をつくるべきであり

2、沖縄について

1、組織経過について

新聞は発行されているかどうか

内部の充実を具体化

体力の向上に力を注ぐ

第三分科委員会は、五月二日午後二時〇五分から四時まで、翌三日午前九時から十二時まで、一、二号室で開催された。

本会議で附託された議題は、第四号議題「昭和四十年度組織活動方針について」第五号議題「昭和四十年度役員選出について」の二議題である。

委員長の玉川伸也君(関西学生部委員長)が議長席につき、本部側担当役員として、奥田吉郎、尾形智短、大西敏治、早川広中、飯塚祥太郎、佐々木恵美子、中川治男、添野定雄の各常任幹事があたった。

まず第六号議題を先議することに決定し、大西敏治常任幹事より提案理由の説明をおこなったのち、二三の事務的な質疑応答があったのち満場一致可決された。

第三分科委員会は、五月二日午後二時〇五分から四時まで、翌三日午前九時から十二時まで、一、二号室で開催された。

本会議で附託された議題は、第四号議題「昭和四十年度組織活動方針について」第五号議題「昭和四十年度役員選出について」の二議題である。

委員長の玉川伸也君(関西学生部委員長)が議長席につき、本部側担当役員として、奥田吉郎、尾形智短、大西敏治、早川広中、飯塚祥太郎、佐々木恵美子、中川治男、添野定雄の各常任幹事があたった。

まず第六号議題を先議することに決定し、大西敏治常任幹事より提案理由の説明をおこなったのち、二三の事務的な質疑応答があったのち満場一致可決された。

沖縄への普及を確約

今年度常任幹事は二十名

第二分科委員会は、五月二日午後二時半より地方生ホテル一一〇号室において開会された。

初めに委員長の選出をおこない岐阜県連副会長の大洞龍明君が委員長に就任し、同委員会に附託された第三号議題「昭和四十年度事業計画について」第三号議題「昭和四十年度予算について」第五号議題「会則改正について」の三議題を審議することになり、本部から担当役員として、宮田靖(事務局長)、北川登(広報委員長)、高野政利(総務部長)、田辺克青(経理部長)、清水聖雄(情報宣伝部長)の五常任幹事が出席して提案理由の説明と答弁に当った。

まずはじめに、出席者の自己紹介をした後直ちに審議に入り、第四号議題「会費の値上げを了承」を先議し、宮田事務局長から提案理由の説明がなされた。その概略は、本会が結成以来十二年間にわたってすえ置きにしてきた会費年額二百円を今回の改正で五百円に値上げし、それに伴って、地区会費五百円から三千円、支部会費三千円から三千円、支部連合会費千円から六千円へとそれぞれ値上げをする。これは本部財政および地方組織の財政が根本的に安定したことを示すものではなく、会員協力のもとに一日も早く安定した、しかし本部から、本会のような組織体に入ってまかなわれることが望ましい形態であり、その理想的な姿に一歩でも近づく努力を会員がおこたってはならない。また昨年度黒字越年をしたことは必ずしも本会の財政が根本的に安定したことを示すものではなく、会員協力のもとに一日も早く安定した、しかし

会費の値上げを了承

拡大された社会教育事業

第二分科委員会は、五月二日午後二時半より地方生ホテル一一〇号室において開会された。

初めに委員長の選出をおこない岐阜県連副会長の大洞龍明君が委員長に就任し、同委員会に附託された第三号議題「昭和四十年度事業計画について」第三号議題「昭和四十年度予算について」第五号議題「会則改正について」の三議題を審議することになり、本部から担当役員として、宮田靖(事務局長)、北川登(広報委員長)、高野政利(総務部長)、田辺克青(経理部長)、清水聖雄(情報宣伝部長)の五常任幹事が出席して提案理由の説明と答弁に当った。

まずはじめに、出席者の自己紹介をした後直ちに審議に入り、第四号議題「会則改正」を先議し、宮田事務局長から提案理由の説明がなされた。その概略は、本会が結成以来十二年間にわたってすえ置きにしてきた会費年額二百円を今回の改正で五百円に値上げし、それに伴って、地区会費五百円から三千円、支部会費三千円から六千円へとそれぞれ値上げをする。これは本部財政および地方組織の財政が根本的に安定したことを示すものではなく、会員協力のもとに一日も早く安定した、しかなお役員に対する立候補および推せんは五月三日午前十一時まで原稿がなければ出席から遅るが編集局の意図ではないか。

友愛リーフレットはすでに二年前に実施されているが、これが完結しないのは本部の責任ではないか。

2、沖縄について

沖縄に組織をつくるべきであり本部より派遣し、来年の大会には代表の参加をさせるべきである。

3、府県連支部の大会について

可能な限りの出席ではなく、必ず出席せよ。

県庁所在地の支部づくりのために支部の実状を掌握すべきである

会費完納運動をやらなければならないのは残念である。登別支部でやったらどうか。

地方支部の機関紙コンクールを本部より派遣し、来年の大会には沖縄に組織をつくるべきであり

2、沖縄について

1、組織経過について

新聞は発行されているかどうか

第四号議題「大会宣言について」川手常任幹事が「本年は、とりあえず対外的問題に比重を置く方針について」尾形常任幹事が「本年は、チャンプの成功をはじめ、対外的な面では非常な積極性を示し対外的な発言力をも増しつつある。しかし一方対外面に力をそそいだため組織内部の問題に対する取り組みが不十分であった。本年はこれらの反省の上に立って運動の基本は引き続き内部問題の解決促進である。われわれは当面まず足下をかためる地盤を築かなくてはならない。従って組織普及を積極的に推進するとともに友愛運動を進めなければならない。また激動する国際、国内諸情勢のなかにあって、われわれはあらゆる問題の焦点を十分に把握し、冷静な、しかも良識ある態度で歴史的に反映しうる人物を派遣すべきである。沖縄問題に対して本会は積極性を示すべきであり沖縄に支部が結成されるようにオルグを派遣すべきである。既成組織の弱体化に乗じ本部原案通り可決された。

第五号議題「会則改正」を先議し、宮田事務局長から提案理由の説明がなされた。その概略は、本会が結成以来十二年間にわたってすえ置きにしてきた会費年額二百円を今回の改正で五百円に値上げし、それに伴って、地区会費五百円から三千円、支部会費三千円から六千円へとそれぞれ値上げをする。これは本部財政および地方組織の財政が根本的に安定したことを示すものではなく、会員協力のもとに一日も早く安定した、しかなお役員に対する立候補および推せんは五月三日午前十一時まで原稿がなければ出席から遅るが編集局の意図ではないか。

友愛リーフレットはすでに二年前に実施されているが、これが完結しないのは本部の責任ではないか。

2、沖縄について

沖縄に組織をつくるべきであり本部より派遣し、来年の大会には代表の参加をさせるべきである。

3、府県連支部の大会について

可能な限りの出席ではなく、必ず出席せよ。

県庁所在地の支部づくりのために支部の実状を掌握すべきである

会費完納運動をやらなければならないのは残念である。登別支部でやったらどうか。

地方支部の機関紙コンクールを本部より派遣し、来年の大会には沖縄に組織をつくるべきであり

2、沖縄について

1、組織経過について

新聞は発行されているかどうか

第六号議題「大会宣言について」川手常任幹事が「本年は、とりあえず対外的問題に比重を置く方針について」尾形常任幹事が「本年は、チャンプの成功をはじめ、対外的な面では非常な積極性を示し対外的な発言力をも増しつつある。しかし一方対外面に力をそそいだため組織内部の問題に対する取り組みが不十分であった。本年はこれらの反省の上に立って運動の基本は引き続き内部問題の解決促進である。われわれは当面まず足下をかためる地盤を築かなくてはならない。従って組織普及を積極的に推進するとともに友愛運動を進めなければならない。また激動する国際、国内諸情勢のなかにあって、われわれはあらゆる問題の焦点を十分に把握し、冷静な、しかも良識ある態度で歴史的に反映しうる人物を派遣すべきである。沖縄問題に対して本会は積極性を示すべきであり沖縄に支部が結成されるようにオルグを派遣すべきである。既成組織の弱体化に乗じ本部原案通り可決された。

千葉県に二支部結成

相呼応して組織の発展へ

千葉支部結成大会

【千葉発】去る四月二十五日(日)千葉市社会センターにおいて、友愛青年同志会千葉支部結成大会が午後一時より開催された。

前日には、結成大会のリハーサルを行う程の熱心さで、当日の結成大会は、近来まれになる支部結成大会となった。

本部関係出席者は、奥田吉郎幹事長、添野元晴常任幹事が出席した。来賓側からは、社会教育課長斎藤諦先生、青少年課主査、秋廣寿一先生の他数名の出席があった。

結成大会終了後、懇親会を開き奥田吉郎幹事長を中心として、友愛運動の進め方や現在疑問に思っている点等、サンドウィッチを食べながら、楽しく話し合い午後四時散会した。この懇親会には真田茂雄氏の多大な協力があった。

役員と事務局は、次の通り。

支部長　越川　隆
副支部長　臼井ゆり江
〃　柳瀬　崇
〃　浅間すみ子
会計　並木千枝子
〃　藤井　太平
会計監査　長谷部勝蔵
〃　秋山　貴慶
事務局長　浅間　通子
〃　次長　国際部長　緑川　玲子
〃　次長　育賀　秀子
〃　次長　企画部長　藤井　太平
〃　次長　並木千枝子
〃　次長　文化部長　小口　寧子
〃　次長　浅間　映子
〃　次長　組織部長　柳瀬　崇
〃　次長　清藤千代子
情報宣伝部長　浅間　映子
〃　次長　山辺マサ子
事務局　千葉市院内町二二二　秋山貴男方

船橋支部の結成大会

かねてより準備を進めていた千葉県船橋支部は四月二十五日午後三時より船橋市労働会館で結成大会を開いた。

当日は本部より尾形智旭常任幹事（組織部長）、長田正太郎幹事（組織部長）が出席した。

大会は田久保尚俊準備委員長の経過報告にはじまり、尾形組織部長が本部を代表して友愛運動について説明し、議長に斎藤浩一氏を選び議事に入った。

最初に支部規約の審議をおこなったが熟行部提案を一部修正し可決した。つづいて昭和四十年度活動方針について審議をおこない、(イ)友愛思想の普及活動(ロ)青少年の健全育成活動(ハ)国際交流活動(ホ)レクリエーション活動(ホ)組織活動等の方針を全員一致で決定し役員を選出して午後五時閉会した。

※支部役員

名誉役員	矢橋知己、斎藤浩一
支部長	田久保尚俊
事務局長	倉部知行
会計	田久保能久
会計監査	斎藤守弘、倉部佐和子
組織部長	宗貝富信
企画部長	金子文孝
文化部長	近藤松代、高橋武子
事業部長	吉村理
婦人部長	国分東起子

※事務局　船橋市宮本町一の六七　金子六三郎方　TEL　船橋（三二）三二一三

高萩でも支部結成

茨城県の有力な拠点に

【高萩発】四月二十九日(木)茨城県高萩市において、高萩支部が結成された。会場は市の商工会の会議室で、会員二十四名の参加があり、本部からは中川治男常任幹事、長田正太郎幹事が参加しておこなわれた。

市長ならびに市教育委員会から友愛青年同志会高萩支部に寄せる期待の言葉があった後、議事に入った。

規約は本部規約の支部準則を承認し、事業計画として本年度は基礎作りを中心におこなうこととした。

その後、役員の選出があり、大会宣言もって結成大会を閉じた。

なお新役員は次の通りである。

支部長　大崎　宥人
事務局長　横山　正貫
会計部長　椎名　文雄
会計監査　工藤　昇
役員　鈴木　芳勝
〃　鈴木　広美
〃　幡村　一郎
〃　渡辺　満
〃　沼田　操
〃　吉久保哲也
〃　柴田　幸一
〃　横山　孝夫
事務所　茨城県高萩市大町三ノ三六　横山正貫方

真心の会員として

第十二回全国大会に参加した多くの代表者のなかには、初めての会員も、二度三度まえは、第一回大会からの古参もいると思う。しかし、変りつつある時代にあって、本会が十二年の歴史を持つに至った過去の積み重ねのなかに、かって味い続けた多くの感動と、忘れることのできない数々の思い出が、何時か消えてしまっているのではないだろうか。ここに寄せられた地方代表の会員の感激に満ちた言葉を味い、充分な省みのうちに、更に前進する全国組織拡充のための新鮮なエネルギーをたくわえたいものである。

全国大会に参加して

北海道　塚本　浩子

この度、初めて全国大会に参加して、来てよかった、という気持でいっぱいです。非常な期待と同時に不安を、持って参りました。晴天にめぐまれ、広大で、しかも眼下一望は波風なく平和そのもののようでした。まったくさわいしいの背景に包まれ、北は北海道、南は九州の端まで"友愛精神の推進"という同じ目的に向った同志が、短期間ではありますが、寝食を共に、討論をし合ったり、ゆかいに楽しみ過ごした数日は、忘れることの出来ない思い出として、深く心に残っております。特に分科会などでは、熱意に燃えた建設的意見が出され、その熱心さに感服致しました。また直接に関係者の方々より、お話を聞く機会が出来たことも喜びであります。この意義ある大会に少しでも多くの人達が参加されることを望みます。出来れば別の形態で、全国の同志が、個々自覚し且つ"真心"を持って集まる事の出来る"場"が持たれるならば、こんな望ましいことはありません。

今回、楽しくそして、有意義だった日々を、指標におれを申し上げます。

なかでも、今大会で感じた一つとして、"一人の生きん"にお会いしました。お話しした時間は、ほんの数分でしたが、真剣で、誠意のある態度には、非常に感銘を受けました。その後数人と任事をさせていましたが、会議も終わり、戻って来る人達が"速報"をえんかわり、たちかわり持って行きましたが、乱れにも別に気にも留めていないようでした。しかしその学生さんが駆けをしました。職務だったのかもしれません。だがその行為は、実に自然で美しく感じました。私には"友愛精神"を言葉でなく、態度で示されたのだと思われます。

"親しきなかにも礼儀あり"という事も一つです。つまり"友愛精神"とは"人の道"である、と言う事を、今回、直接肌に感じさせられました。この私達の"会"は社会教育活動の一端であることは勿論、一人の学生さんがおこなったこの小さな行為が友愛にとって最も大切であり、それが土台になっているものと思います。その"心"を持って、現実社会の流れに、この"友愛活動"をかみあわせ、一歩、一歩"友愛社会"の建設に近づくことを願う次第でございます。

【筆者は札幌支部事務局長】

日本の生んだ世界のマーク
SONY
トランジスタラジオ・マイクロテレビ・テープコーダー
ソニー株式会社

大会点描

当初のランド関係者に交替があり、その後の引き継ぎが充分でなかったことに原因があったようで、一夜に全関係書類を作り変える無理をやりこなしたのはさすがであった。代表者各位に相当の迷惑をかけたこともあったことである。これは宿泊予約の不能が発端になってしまった。国大会に御れたことがあった代々事務局長の健康には、会員一同で面倒をみてやりたいものである。一日も早く回復することを祈る。

◎宿泊部長の責を果したのは、事務局長の出張となった。北川登前事務局長も過労で第八回全国大会に御けたことがあった。

◎大会事務局長の宮田靖昌は、四月初旬から任期が悪くて医師に安静をいいわされていたが、今大会には是非出席しなければと無理に参加したので、大会二日目について疲労の度合が激しく、大会事務局室のふとん置場に床をみてることになった。その結果月三日午後以降は大会事務局長代行高野政利総務部長の出張となった。北川登前事務局長も第八回全国大会代々事務局長の宮田靖昌長）で、早朝五時半頃から待機したが、早朝五時半頃から待機起床と食事、夜の消灯まで生活の面倒を見ると友愛山荘の管理者ならば、どこからか管理者として引き抜きこうるのではないか。なかでもリンクタイムを午後九時から十時まで設けたことは秀逸で、参加者一同より大好評であった。最も飲まないと寝れないという彼にとっては、自分自身のためであったかも知れない。その上、大会中来代表者の見合いのようもちをやってのけたこともあり、実力の程は御験力を願っているので、みなさんの予定でいるので、みなさんの発言は、記録として出席大会からの発言回数に通し番号をつけることになったので、楽しみも増したけれどもなお大会では通し番号が8番になった。

◎会場に選ばれた読売ランドに向かったのは、四月三十日午後五時頃、到着したスタッフ連中を先づ驚かしたのは宿泊予約総数に姿勢があり、切角準備した宿泊予定と会場一覧表が全部駄目になってしまったことである。これは宿泊予約の不能が発端になってしまった。北川登前事務局長も過労で第八回全国大会に御れたことがあった代々事務局長の健康には、会員一同で面倒をみてやりたいものである。一日も早く回復することを祈る。

◎宿泊部長の責を果したのは、相当の迷惑をかけたこともあり、晴れの閉会式の司会を担当したられてしまった。そこで大会に提出する間もなく、勤務先の県庁より大阪出張所転勤を命ぜられてしまった。そこで大会に出席しているかと心配していた。あしからず。

◎大会事務局長の宮田靖昌は、四月初旬から任期が悪くて医師に安静をいいわされていたが、今大会には是非出席しなければと無理に参加したので、大会二日目について疲労の度合が激しく、大会事務局室のふとん置場に床をみてることになった。その結果月三日午後以降は大会事務局長代行高野政利総務部長の出張となった。北川登前事務局長も過労で第八回全国大会代々事務局長の宮田靖昌長）で、早朝五時半頃から待機起床と食事、夜の消灯まで生活の面倒を見ると友愛山荘の管理者ならば、どこからか管理者として引き抜きこうるのではないか。なかでもリンクタイムを午後九時から十時まで設けたことは秀逸で、参加者一同より大好評であった。最も飲まないと寝れないという彼にとっては、自分自身のためであったかも知れない。その上、大会中来代表者の見合いのようもちをやってのけたこともあり、実力の程は御験力を願っているので、みなさんの予定でいるので、みなさんの発言は、記録として出席大会からの発言回数に通し番号をつけることになったので、楽しみも増したけれどもなお大会では通し番号が8番になった。

◎山口支部代表の山本節子さんは四月に代表者名簿を、本部に提出する間もなく、勤務先の県庁より大阪出張所転勤を命ぜられてしまった。そこで大会に出席しているかと心配していた。あしからず。

◎去年の第十二回大会の折に第一号の大会選挙を作成して配布したのが、好評だったので、今大会にも大会事務局が頑張り、第五号まで発行することができた。これからも大会毎に発行する予定でいるので、みなさんの御協力を願っている。なお、記録として出席大会からの発言回数に通し番号をつけることになったので、楽しみも増したけれどもなお大会では通し番号が8番になった。

◎会場に選ばれた読売ランドに向かったのは、四月三十日午後五時頃、到着したスタッフ連中を先づ驚かしたのは宿泊予約総数に姿勢があり、切角準備した宿泊予定と会場一覧表が全部駄目になってしまったことである。これは宿泊予約の不能が発端になってしまった。北川登前事務局長も過労で第八回全国大会に御れたことがあった代々事務局長の健康には、会員一同で面倒をみてやりたいものである。一日も早く回復することを祈る。

◎宿泊部長の責を果したのは、相当の迷惑をかけたこともあり、晴れの閉会式の司会を担当したられてしまった。そこで大会に提出する間もなく、勤務先の県庁より大阪出張所転勤を命ぜられてしまった。そこで大会に出席しているかと心配していた。あしからず。

◎山口支部代表の山本節子さんは四月に代表者名簿を、本部に提出する間もなく、勤務先の県庁より大阪出張所転勤を命ぜられてしまった。そこで大会に出席しているかと心配していた。あしからず。

◎去年の第十二回大会の折に第一号の大会選挙を作成して配布したのが、好評だったので、今大会にも大会事務局が頑張り、第五号まで発行することができた。これからも大会毎に発行する予定でいるので、みなさんの御協力を願っている。なお、記録として出席大会からの発言回数に通し番号をつけることになったので、楽しみも増したけれどもなお大会では通し番号が8番になった。

全国大会に参加して

千葉　臼井ゆり江

快く晴れた五月二日、初めての参加し期待の胸をふくらませて、会場に着いた時にはすでに事務局長の御聞れのいい顔が始まっておりました。あわてて上足のままはいってしまうという失敗もしましたが、内外とも問題の多い今日私達青年が友愛思想のもとに団結し、よりよい社会の建設をめざして努力することの喜びと感激をかみしめたのは私だけではなかったでしょう。

三日間における活発な意見の交換を通して、各人の意欲をひしひしと感じ、自分自身を反省する機会が得られ、また結成されたばかりの私達千葉支部を外からみて、その長所、短所を知ることができたことは収穫でした。

すべての人が心の中に友愛の気持をもち、温かい人類愛心を向けるようになるには多くの人の力と努力が必要とされます。そのためにも私達、青年が頑張らなくてはならないという励ましを本大会は私に与えてくれたのです。

最後に、友愛思想を理解するには概観的に、自分でしかに感じることの重要性を痛感致しました。

【筆者は千葉支部副支部長】

全国大会に参加して

茨城　大崎　宥人

去る五月二日よりおこなわれた全国大会に参加し、全国の同志諸兄と歓談をともにし、膝を交えて語り合えたことを、非常に嬉しく感謝致します。さて、十二年目を向えた当同志会の、その基礎を問われたならば、誰しも、相互尊重、相互理解、理事長助の三原則はたなに口をついて出ることと思います。これを私なりにつなぎ合せてもらいますと、お互がかるがかるわる喜び重んじ合い、道理道をはっきり欲求込んでお互いに助け合って行くことなると思います。もかし、本大会を省り見ますとき、十二年の歳月と十万人の会員を擁するに致って、何か欠けたところが出てきたように感じたのは、私一人であったでしょうか、大会を無事終了させることは必要でしょう。が三原則の一つでも欠けておこなわれたことは自己満足に過ぎず、何かもの足りなさを感じるように思います。しかしすべての場合、理想を取り入れることは弊害を生じることがありましょう。私達は一歩一歩と友愛革命をおこなわなければならないと思います。三原則を忘れずに頑張りましょう。

【筆者は高萩支部長】

時事国際記

4/10 ロスト懇談会打ち合せ会、後一時　於東急ホテル一階
11 全国大会代表者申込締切
11 国民平金協会理事会　後一時　於合同青年館
11 関東学生部総会　後一時　於東京都連常任幹事会
12 大会案内状発送
12 オリンピック世界青少年キャンプ理事会、後一時　於総理府
13 沼津市大会実行委員会　後一時　於総理府
13 第十二回常任幹事会　後六時　於本会議室
13 国際委員会研究会　後六時　於赤坂ちまち
13 選挙法改正委員会　正午　於日本青年館
14 大会要綱発注
14 友の会和歌の集い　前十時　於はなれ
15 大会役員決定通知発送
15 カレルギー研究会　後一時　於はなれ
18 東南アジア経済使節団派遣委員会　後七時　於本部
19 キャンプ研究懇談会　後六時　於東京YWCA
19 世界連邦委員会　後六時　於参議院会館
19 世界青少年キャンプ委員会　前一時　於保健会館
20 ソ連青少年代表との交換会　後四時　於保健会館
20 第十八回全国幹事会　開会式
20 第十二回全国大会　於読売ランド
21 友愛婦人会バス旅行　洗濯青年を守る運動懇談会　前十一時　於東京文化会館
22 訪独代表選考会　前一時　於参議院会館
22 友愛婦人会バス旅行　青年奉仕隊推進協議会　後一時　於健青会分室
28 日本ハンガリー青少年交換準備委員会　後一時
28 友愛婦人会バス旅行　ソ連青少年との交換会　後四時　於保健会館
28 訪独代表選考会　前一時　於参議院会館
28